

「あったらいいなプロジェクト」とは

あったらいいなプロジェクトとは、ユーザー、ソフトメーカー、工具メーカーが三位一体となった生産性向上の取り組み。「海外製ハイパフォーマンススキャッターを使いこなす」との思いが出発点。

ユーザー
事例報告

技術研究という経営判断

■“新しさ”の発見を重視

コダマコーポレーション(横浜市都筑区、小玉博幸社長)の加工技術研究所は、エムゲはじめさまざまなメーカーの工具と材料を組み合わせ、切削加工に取り組んでいる。日本のCAD/CAMベンダーで、これだけ加工に取り組んでいる例も珍しいだろう。

自社で扱うTOPsolidシリーズを、ユーザーとして実際に使い、加工技術を探求し、ニーズを開発側にフィードバックする。江口隆一係長はじめ研究所員は、それが市場ニーズを正確に反映すると信じている。いわば、CAMに対する要望を出すのが仕事。「“新しさ”の発見を重視している。ユーザーの先を行く提案ができるように」。

金属加工業界も、新興市場との競争が激化している。江口係長は「いかにユーザーの効率、生産性を上げるか。そのためにTOPsolidシリーズの活用方法を、加工側からアプローチして、追求している」と話す。

市場において、加工のどういったところが突き詰められていないのか、そしてどのように突き詰めるのか、を探求している。常識破りの加工条件で使う、エムゲのマルチなどを、思い切って、

積極的に使いこなしている。

■志の高さ

研究所ゆえ、研究のためならある意味で何でもできる。まさにその点が強みなわけだが、CAD/CAMベンダーが実際に研究所を持つことは、口でいうほど簡単ではない。そこには経営者の志の高さが表れているのだろう。挑戦が生み出す価値の大きさを重視している。

東京都羽村市にある同社の試作部からも“隔離”し、前例やその現場の常識がほほまないところからスタートした。だからこそ、失敗を恐れない。とにかくTOPsolidシリーズを使った加工技術の探求にまい進している。

江口係長は「TOPsolidシリーズというCAD/CAMの力を、自分たちで証明し、情報発信していきたい」と力を込める。今後どのように発展していくかが楽しみな現場だ。



「エムゲの工具、使い込んでますよ」と江口係長

※ご質問やご意見は、編集部・芳賀 (haga@news-pub.cojp)まで

ソフト

機能だけじゃない

サポート力で「5軸」をモノにする

コダマコーポレーション 5軸加工技術を自社で極める

「多くのユーザーから<5軸加工機を導入したが活用できない>という相談を受けていた」——。フランス・ミスラー社の3次元CAD/CAM「TOPsolid」シリーズを提供するコダマコーポレーション(横浜市都筑区、小玉博幸社長)は、CAD/CAMを熟知した自社が5軸加工機を使いこなすことが問題解決の近道との考えから、09年に加工技術研究所を開設した。

研究所のコンセプトは、「加工の未経験者でもCAD/CAMを制することで、短期間に5軸加工を制す」ことの実証。現在、複合加工機2台と5軸加工機4台を所有。これらと5軸・複合加工対応CAMシステム「TOPcam」とのベストコラボの構築、5軸加工機を活用した難削材の加工技術の研究などに励む。試作モデル製作サービスも実施し、樹脂、アルミ、ステンレスからチタン合金の加工まで幅広く対応。「CAD/CAM次第で5軸でここまでできる」ことを自ら実証し続けている。

また、経営者向けの5軸・複合加工セミナーなども開催。5軸加工を短期間で“制する”ための提案、啓もう活動に励む。「自社の成果を通じて、ユーザーに安心して5軸加工に取り組んで欲しい」と願う。



経営者向け5軸・複合加工セミナー